

## 資 料

## 大雪山採集の天牛類に就て

松 下 眞 幸

## 緒 言

北海道の中央高地大雪山の昆蟲類に就ては、1926年、松村博士は同山地に採集を試みられ、鱗翅類に関する研究結果を、多数の新種と共に“*Insecta Matsu-mura*” (Vol. I. 1926-29) に發表せられたり。是れ大雪山の昆蟲類が學術的に研究せられたる嚆矢にして、當時暗黒の境地に光明を與へられたるものと謂ふべし。然れ共甲蟲類、其の他の Fauna に就ては未だ闡明せられざる處甚だ多く、此の山地に於ける昆蟲學上の探究は將來更に深さを加ふるの要ありと信ぜられる。

余は昨夏(1928)、此の地方に採集旅行を試み8月7日より數日間に汎り黒岳、北鎮岳、北海岳、旭岳等の諸峰及び山麓附近に採集を實行するの機を得たり。之より短時日の採集にして盡さざる處多きを知るも聚集せる標本中、天牛科に屬する昆蟲の研究を了せるものあれば茲に該蟲類に就て記述する處あらんとす。

本稿を草するに當り、恩師新島、松村兩博士は貴重なる文獻を貸與せられ、又教示を賜はる處多し、茲に記して深謝の意を表す。

## 種 類 及 記 載

豊麗なる植物景觀を有する森林帯に於ては、昆蟲類も亦豊富なる種類を包含するを見るも、海拔1400米以上の山頂部に於ては灌木以外に森林なきこと、氣候の寒冷なること等特殊なる生活環境の支配を受け、森林帯に於けるものとは自から種類竝に生態を異にし、僅少なる種類を獲しのみ。而して本調査の結果より、本高地産天牛類の大部が樺太竝に西比利亞との共通種にして朝鮮との關係、亦淺からざるを見るは、生物地理學上より興味深き事實と謂ふべし。

以上記載せる昆蟲は三十二種にして、中に一新變種及び本邦よりの未記録種二種、本道よりの未記録種四種を有す。尙從來發表せられしものにして、學名の訂正を要すべきもの二、三あるも、是れ等は該蟲の記載下に説明することとせり。

## Cerambycidae

## Unterfam. Prioninae

1. *Prionus insularis* MOTSCH. ノコギリカミキリ

MOTSCHLSKY, Etud. Ent. VI. 1857, p. 36.

HEYDEN, Deutsche Ent. Zeit. 1879, p. 358.

MATSUMURA, Thous. Ins. Jap. III, p. 147, pl. LIII, f. 10.

採集地、層雲峽、松山温泉附近。

分 布、北海道、本州、四國、朝鮮、滿洲、西比利亞。

### Unterfam. Cerambycinae.

#### 2. *Distenia gracilis* BLESSIG ホソカミキリ

BLESSIG, Horae Soc. Ent. Ross. IX, 1872, p. 168, t. 8, f. 1.

KRAATZ, Deutsche Ent. Zeit., XXIII, 1879, p. 91.

*japonica* BATES, Ann. Mag. Nat. Hist. (4) XII, 1873, p. 209.

JACOBS, Käfer, Russl. 1910, t. 67, f. 24.

MATSUMURA, Thous. Ins. Japan III, 1909, nr. 692, t. 52, f. 7.

採集地、層雲峽。

分 布、樺太、北海道、本州、四國、九州。

本種は従來樺太に知られざりし種類なるが、著者は 1925 年 8 月南名好に於て採集せる標本一個を有す。

#### 3. *Tetropium castaneum* L. エゾマツカミキリ

JACOBS, Käfer Russl. 1910, t. 66, f. 3.

採集地、層雲峽。

分 布、樺太、北海道、朝鮮、歐洲、西比利亞。

#### 4. *Criocephalus rusticus* L. ヒラタカミキリ

BATES, Ann. Mag. Nat. Hist. 1873, p. 151.

JACOBS, Käfer Russl. 1910, t. 66, f. 2.

採集地、層雲峽。

分 布、北海道、本州、朝鮮、歐洲、西比利亞。

#### 5. *Criocephalus quadricostulatum* KRAATZ オホクロカミキリ

KRAATZ, Deutsche Ent. Zeit. XXIII, 1879, p. 98.

JACOBS, Käfer Russl. 1910, t. 65, f. 15.

採集地、層雲峽。

分 布、樺太、北海道、本州、西比利亞、アムール。

#### 6. *Pachyta lamed* L. カタキカタピロハナカミキリ

SCHAUFUSS, CALWER's Käferb. II. 1916, p. 831.

REITTER, Fauna Germ. IV. 1912, p. 9. t. 131. f. 6.

PLANET, Longicornes de France, 1924. p. 99. f. 80-82.

採集地、北海岳(2100 米附近)

分 布、樺太、北海道、西比利亞、歐洲。

本種は従來北海道より知られざりし種類なり。

#### 7. *Gaurotes ussuriensis* BLESSIG ウスリーハナカミキリ(未記録種、新稱)

BLESSIG, Horae Soc. Ent. Ross. IX. 1873, p. 247.

記載 體長 11—13 mm. 體黑色、翅鞘は美麗なる綠色にして金屬光澤を有す。頭部は黑色、大小不規則なる點刻及皺を有し、粗糙なり。黄毛を疎生し、頭頂に一縦線を有す。觸角は黑色なるも先端の數節は淡色にして末端節は暗褐色を呈す。

前胸背は稍、光澤ある黑色にして粗大なる點刻を有す。上面の中央には長形の一凹陥を有し、尙側縁に近く各、一個の淺き凹陥あり。黄毛を疎生す。稜狀板は黑色にして黄毛を生ず。

翅鞘は前胸部より著しく幅廣く、皺狀の粗き點刻を有す。同點刻は基部に於て強く、後部に至るに従ひ弱し。稜狀板に接する縁邊は高く隆起せり。翅鞘の先端は弧狀に截斷せらる。

腹面は漆黑色にして光澤あり。脚は黑色、但し腿節は末端を除き黄色を呈す。採集地、層雲峽。

分 布、樺太、北海道、アムール。

本種は 1873 年 BLESSIG 氏に依りアムールより始めて記載せられたるものなるが、今次の研究に依り本道の山地に於て普通に發見せらるゝ種類なる事を知れり。尙著者は樺太 (VIII. 1925) 竝に千島擇捉島 (VII. 1923) に於て本種を獲たる事を附記す。

8. (a) *Alosterna tabacicolor* DEGEER var. *bivittis* MOTSCH.

ホクチヒメハナカミキリ(未記録種、新稱)

MOTSCHULSKY, Schrenk's Reise, col. 1860, p. 146, t. 9, f. 12.

記載 本變種は原種と酷似するも次の諸點に依り區別せらる。

1. 翅鞘は暗黑色にして肩部に廣き赤褐色の斑紋を有す。
2. 觸角の基部は暗褐色を呈す。
3. 中脚の腿節及脛節の末端は暗色を帶ぶ。

採集地、黒岳 (1500—1600 米附近)

分 布、樺太、北海道、西比利亞、コーカサス。

著者は樺太 (VIII. 1925. 豊原)、千島擇捉島 (VII. 1923) に於ても本種を獲たる事を報ず。

8. (b) *Alosterna tabacicolor* DEG. var. *fusca* MATSUSHITA n. var.

クロホクチヒメハナカミキリ(新變種、新稱)

記載 亦變種は前種に酷似するも下記の諸點を異にす。

1. 翅鞘には赤褐色の斑紋を缺き全面褐色を帶べる暗黑色又は深黑色を呈す。
2. 觸角の基節は黑色

3. 中、後兩脚脛節の大部は暗黒色を呈す。

採集地、同前。エゾノヨロヒグサ、*Angelica anomala* LALLEM の花上に採集す。(♂ 2, ♀ 1.)

9. *Leptura succedanea* LEWIS アカハナカミキリ

LEWIS, Ann. Mag. Nat. Hist. (5). IV, 1873, p. 464.

BATES, Journ. Linn. Soc. Lond. Zool. XVIII, 1884, p. 217.

採集地、層雲峽、ポンアイシポブ澤、松山温泉附近。

分 布、樺太、北海道、本州、四國。

10. *Leptura varicornis* DALMAN ブチヒゲハナカミキリ

DALMAN, in Schoul. Synom. Ins. I, 3, 1817, p. 482.

採集地、層雲峽、ポンアイシポブ澤、松山温泉附近。

分 布、樺太、北海道、歐洲、西比利亞。

11. *Leptura scotodes* BATES ツヤケシハナカミキリ(新稱)

BATES, Ann. Mag. Nat. Hist. (4). XII, 1873, p. 194.

採集地、層雲峽。

分 布、樺太、北海道、本州。

本種は 1873 年 BATES 氏に依り長崎より記載せられしものなるが、著者は樺太、千島、及本州(佐渡)に於て本種を獲たる事を報ず。

12. *Leptura cyanea* GEBLER. ミドリハナカミキリ

JACOBS., Käfer Russl, t. 67, f. 6, 1910.

OKAMOTO, Insecta Matsum. vol. II. nr. 2. 1927.

採集地、層雲峽。

分 布、北海道、本州、朝鮮、西比利亞。

北海道本島より本種を記載するは本報文を以て嚆矢とす。

13. *Judolia sexmaculata* LINNE. シララカハナカミキリ

LINNE, Syst. Nat. ed. 10, 1758, p. 398.

*Leptura shirarakensis* MATSUM., Journ. Coll. Agri. Imp. Tohoku Univ. p. 137. 1911.

採集地、層雲峽。

分 布、樺太、北海道、西比利亞、歐洲、北米。

松村博士は樺太昆蟲相に関する論文“Erster Beitrag zur Insekten-Fauna von Sachalin”(東北帝大紀要、第四卷、p. 137, 1911)に於て本種を新種と認定せられ *Leptura shirarakensis* なる學名を與へられたり。其の後横山博士、鹿野忠雄の兩氏は共著“南樺太産甲蟲類”なる報文(動物學雜誌、Vol. XXXIX. p. 29. 1927)に於て本種を *Pseudopidonia* 屬に隸せしめらる。然れ共、前胸片の前部の剝られざる事、頭部は複眼の後部に於て著しき發達をなさざる事等の點に於て *Pseudopidonia* 屬のものならず、前胸背の基部に顯著なる横溝を缺く事

及び翅鞘の末端の圓味を帶ぶる事等の諸特徴を具有する點に於て *Judolia* 屬に隸せしむるを至當とすべく、著者所有の標本及び北大昆蟲博物館所藏の標本を検するに其の特徴は明かに *Judolia sexmaculata* 及び其の異常形と認め得べきものなる事を知れり。依て著者は茲にシララカハナカミキリの學名を *Judolia sexmaculata* L. となし *J. shirarakensis* MATS. を其の異名となせり。尙本種は本道よりの未記録種にして千島地方に於ても採集し得し事を報ず。

14. *Strangalia aethiops* PODA コクロハナカミキリ

PODA, Ins. Mus. Graec. p. 38. 1761.

*aterrima*, MOTSCH., SCHRENK's Reise, Coll. 1860, p. 147, t. 9. f. 24.

*atra* SCOP., JACOBS., Käfer Russl. t. 64, f. 12, 1910.

採集地、層雲峽、ポンアイシポプ附近。

分 布、樺太、北海道、朝鮮、西比利亞、歐洲。

本種は北海道より未記録の種類にして千島地方にも分布す。

15. *Strangalia arcuata* PANZER var. *mimica* BATES ヤツボシハナカミキリ

BATES, Journ. Linn. Soc. Lond. Zool. XVIII, 1884, p. 219.

採集地、層雲峽。

分 布、樺太、北海道、本州。

(1) 本種の學名は松村博士に依り、東北帝大紀要、第四卷、p. 136 (1911) に *Leptura cometes* BATES. として記載せられ、横山、鹿野の兩氏は其の報文“南樺太産甲蟲類”(動物學雜誌 XXXIX. p. 30. 1927) に於て *Judolia* 屬に隸せしめられしが、其の特徴は明かに *Strangalia* 屬に入る可きものなり。原記載(Journ. Linn. Soc. Lond. Zool. XVIII, 1884, p. 219) に依るに本種は *cometes* BATES とは全く別種なる事を知れり。而して本種は歐洲に産する *Strangalia arcuata* PANZER の變種と認め得べきものにして 1884 年 BATES 氏が Journ. L. S. L. Z. XVIII. p. 219. に *Leptura mimica* BATES として發表されしものと同種なること判明せり。由て茲にヤツボシハナカミキリの學名を *St. arcuata* PANZER var. *mimica* BATES と訂正せり。

(2) 著者は尙マルガタハナミキリの學名 *Pachyta erebia* BATES は *Judolia cometes* BATES と訂正せらるべきものなる事を附記す。

16. *Strangalia vicaria* BATES フタスジハナカミキリ

BATES, Journ. Linn. Soc. Lond. Zool. XVIII, 1884, p. 218

採集地、層雲峽、ポンアイシポプ、松山温泉附近。

分 布、樺太、北海道、本州。

17. *Strangalia ochraceofasciata* MOTSCHULSKY ヨスジハナカミキリ

MOTSCH., Etud. Entom. X 1861, p. 21.

採集地、層雲峽、ポンアイシポプ、松山温泉附近。

分 布、樺太、北海道、本州。

18. *Leontium viride* THOMSON ミドリカミキリ

THOMS., Syst. Ceramb. 1864. p. 175.

採集地、層雲峽。

分 布、北海道、本州、四國、臺灣。

19. *Rosalia batesi* HAROLD ルリボシカミキリ

HAROLD, Berl. Ent. Zeitschr. XXI, 1877, p. 360.

採集地、松山温泉附近。

分 布、北海道、本州。

20. *Xylo'rechus clarimus* BATES ツマキトラカミキリ

BATES, Journ. Linn. Soc. Lond. Zool. XVIII, 1884, p. 231.

採集地、層雲峽。

分 布、北海道。

21. *Chlorophorus figuratus* SCOP. var. *latifasciatus* FISCHER

スジボソコトラカミキリ

FISCHER, Bull. Moscou IV, 1832, p. 493, t. 6. f. 8.

OKAMOTO, Insecta Matsumurana Vol. II, nr. 2, 1927, p. 75.

採集地、層雲峽。

分 布、北海道、本州、朝鮮、西比利亞。

22. *Paraclytus excultus* BATES シロトラカミキリ

BATES, Journ. Linn. Soc. Lond. Zool. XVIII, 1884, p. 234, t. 1. f. 11.

採集地、層雲峽、ポンアイシポプ。

分 布、北海道、本州。

23. *Cyrtoclytus caproides* BATES キスジトラカミキリ

BATES, Ann. Mag. Nat. Hist (4). XII, 1873, p. 200.

採集地、層雲峽。

分 布、北海道、本州、四國。

#### Unterfam. Lamiinae

24. *Lamia textor* LINNE エゾカミキリ

LINNE, Syst. Nat. ed. X, p. 392, 1758.

採集地、松山温泉附近。

分 布、樺太、北海道、朝鮮、臺灣、歐洲、西比利亞。

25. *Monochamus sartor* FABRICIUS ヨツボシヒゲナガカミキリ

FABRICIUS, Mant. Ins. I, 1787, p. 137.

PLANET, Longicornes de France, 1924, p. 266. f. 266.

採集地、層雲峽、ポンアイシポプ、松山温泉附近。

分 布、樺太、北海道、朝鮮、西比利亞、歐洲。

26. *Monochamus sutor* LINNE コシラフヒゲナガカミキリ

LINNE, Syst. Nat., ed. 10, 1758, p. 392.

PLANET, Longicornes de France 1924, p. 267, f. 227, 228.

採集地、盤の澤附近(1500 米)、ポンアイシポフ。

分 布、樺太、北海道、朝鮮、西比利亞、歐洲。

本種は本道の未記録種にして著者は此れをハイマツ及びエゾマツの伐採木に採集せり。

27. *Dihammus cervinus* HOPE ビロウドカミキリ

HOPE, in Gray, Zool. Misc. p. 27, 1831.

*M. fraudator* BATES, Ann. Mag. Nat. Hist. (4), 1873, p. 309.

採集地、松山温泉附近。

分 布、北海道、本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、アツサム、ビルマ、

28. *Dihammus luxuriosus* BATES センノカミキリ

BATES, Ann. Mag. Nat. Hist. XII, 1873, p. 309.

採集地、松山温泉附近。

分 布、北海道、本州、四國、九州、朝鮮。

29. *Acanthocinus oppositus* CHEVROLAT シロオビモモブトカミキリ

KRAATZ, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 82.

採集地、層雲峽。

分 布、樺太、北海道。

30. *Saperda decempunctata* GEBLER トロシカミキリ

採集地、層雲峽。

分 布、北海道、本州。

31. *Eutetrappa chrysargyrea* BATES ハンノオホルリカミキリ

BATES, Journ. Linn. Soc. Lond. Zool. XVIII, 1884, p. 286.

採集地、層雲峽。

分 布、樺太、北海道、本州、四國、九州。

32. *Eutetrappa variicornis* BATES シナカミキリ

BATES, Journ. Linn. Soc. Lond. Zool. XVIII, 1884, p. 256.

採集地、層雲峽。

分 布、北海道、本州、四國。